

幼虫用薬剤一覧（2020年06月30日現在）

作物名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数 ・使用量	使用方法	本剤の 使用回数	RAC※1
さくら	園芸用キンチョールE	-	-	【専用ノズルつけかえ方式】 容器のボタンを引き抜き、専用ノズルにつけかえ、食入部にノズルを差し込み、薬剤が食入部から流出するまで噴射する。	-	I:3(A)
				【2ウェイノズル方式】 折り畳まれた専用ノズルを引き上げ、食入部にノズルを差し込み、薬剤が食入部から流出するまで噴射する。		
うめ	ベニカカミキリムシエアゾール※3	収穫前日まで	-	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	5回以内	I:3(A)
おうとう						
すもも						
もも						
果樹類※2						
うめ	ロビンフッド※3	収穫前日まで	-	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	5回以内	I:3(A)
おうとう						
すもも						
もも						
果樹類※2						
さくら	マツグリーン液剤2	発生初期	50倍	食入孔に注入	5回以内	I:4A
うめ	バイオセーフ※4	幼虫発生期	2500万頭（約10g）、2.5L	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入	-	I:未
さくら						
もも						
食用さくら(葉)						
さくら	アトラック液剤	幼虫発生前～幼虫発生期	※6	樹幹注入	3回以内	I:4A
さくら	アクセルフロアブル	-	100倍	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入	6回以内	I:22B
さくら	ウッドスター	新葉展開後～落葉前まで	※7	樹幹注入	3回以内	I:4A
さくら	リバイブ	発生前～発生期	※8	樹幹部に注入孔をあけ、注入器の先端を押し込み樹幹注入する。	1回	I:6

※1：同一RACコードの薬剤は、連用を避ける。

※2：かんきつ、りんご、なし、びわ、もも、すもも、うめ、おうとう、ぶどう、かき、マンゴー、いちょう(種子)、くり、ペカン、アーモンド、くるみ、食用つばき(種子)を除く

※3：カミキリムシ類で登録がある薬剤。

※4：生物農薬。

※6：胸高直径(樹幹部)、6～10cm 30m l、11～15cm 60m l、16～20cm 90m l、21～25cm 120m l、26～30cm 180m l、30cm以上は胸高直径が5cm増すごとに30～60m lを増量する

※7：注入部直径 6cm～10cm：8～12m l、10cm～20cm：12～24m l、20cm～30cm：24～36m l、30cm～40cm：36～48m l、40cm～50cm：48～60m l、50cm～60cm：60～72m l、以降、直径が10cm増す毎に12m lを追加する

※8：胸高直径(樹幹部)6～10cm30m l 11～15cm60m l 16～20cm90m l 21～25cm120m l 26～30cm150m l 30cm以上は胸高直径が5cm増すごとに30m lを増量する。